エコアクション21
環境経営レポート

東海耐摩工具株式会社

活動運用期間：2024年4月～2025年3月

承認	確認	作成
永田健	高倉悟	内田喬
社長	環境管理責任者	環境事務局

作成日：2025年5月1日
更新日：2025年6月23日

目次

１．取組の対象組織、活動・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

２．環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

３．実施体制図及び役割、責任、権限表・・・・・・・・ 6

４．環境経営目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

５．環境経営活動計画の実績および評価 ・・・・・・ 9

６．取組実例紹介 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

７．次年度の取組内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

８．環境関連法規制等の遵守状況 ・・・・・・・・・・ 18

９．代表者による全体評価と見直し ・・・・・・・・・ 19

１．取組の対象組織・活動

（１）名称及び代表者名
名称：東海耐摩工具株式会社
代表者：永田　健太郎

（２）所在地　愛知県名古屋市守山区川宮町335
本社工場：名古屋市守山区川宮町335

（３）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者氏名：　高倉　悟
環境事務局氏名：　高倉　悟　　内田　喬大
連絡先：052-794-6321

（４）事業内容　:粉体成形金型の製造及び粉体成形金型用の冶工具の製造
（事業年度:4月～翌年3月）

（５）沿革　昭和39年2月　東海耐摩工具株式会社創立（名古屋市）
昭和61年　第一期増築
昭和63年　第二期増築

（６）事業の規模

従業員数　34人

床面積　1631.43㎡

（７）認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名：　東海耐摩工具株式会社

認証・登録の範囲：　本社工場（名古屋市守山区川宮町335）の全組織・全活動

活動：　粉体成形金型の製造及び粉体成形金型用の冶工具の製造

（8） 主要設備

機種	メーカー	型式
NC旋盤	ワシノ	LN-32N
旋盤	ワシノ	LR-55A
フライス盤	牧野フライス	KSJP・KVP-55
マシニングセンター	安田工業	YMC430 / YMC430ver Ⅱ/YBM640ver Ⅳ
	キタムラ	マイセンサー1・マイセンサー1B
	牧野フライス	V33-5XB
	碌々産業	MEGA-SS400・MEGA-SS600

NC平面研削盤	岡本	PSG-63DXNC
平面研削盤	和井田	SPG-Wi
	日興	MSG-6HP
	ワシノ	MEISTER PRO
NC平面研削盤	長島精工	WAZA520-NC
NC内面研削盤	太陽工機	IGV-3NT
コンタ	日本工業	L-300

ワイヤーカット	三菱	PX05
	三菱	FA10PM・FA10PMS
	三菱	PA05SM
	三菱	MP1200
放電加工機	三菱	VH-10M
	三菱	ADMAQ-E903150
	三菱	N35KC7（ATC）
	三菱	EA12VM / EA12PSM / EA8PV

ラッピング機	東洋エクスツールドホーン	MARHV2-120
ホーニグ盤	富士ホーニング	FK-8A
SF式ホーニング盤	タミックス	TH-S
エアロラッパー	ヤマシタワークス	YT-100

２．環境経営方針

東海耐摩工具株式会社

＜環境経営基本理念＞

東海耐摩工具は、豊かな地球環境を後世に残すため、
ものづくりを通じ「法令遵守」「環境保全」「品質向上」
「社会貢献」を総員参加のもと自主的かつ
積極的に取組みます。

＜環境経営方針＞

１．　事業活動において、以下の環境課題について重点的に取組みます。

①　CO2の削減を推進します。

②　廃棄物の削減を推進します。

③　排水量の削減を推進します。

④　化学物質使用量の削減を推進します。

⑤　グリーン購入、グリーン調達を推進します。

⑥　環境負荷の低減を目指したものづくりを行います。

２．　環境保全に関連する関連法規制や条例、その他の環境関連要求事項など
当社が約束したことを遵守します。

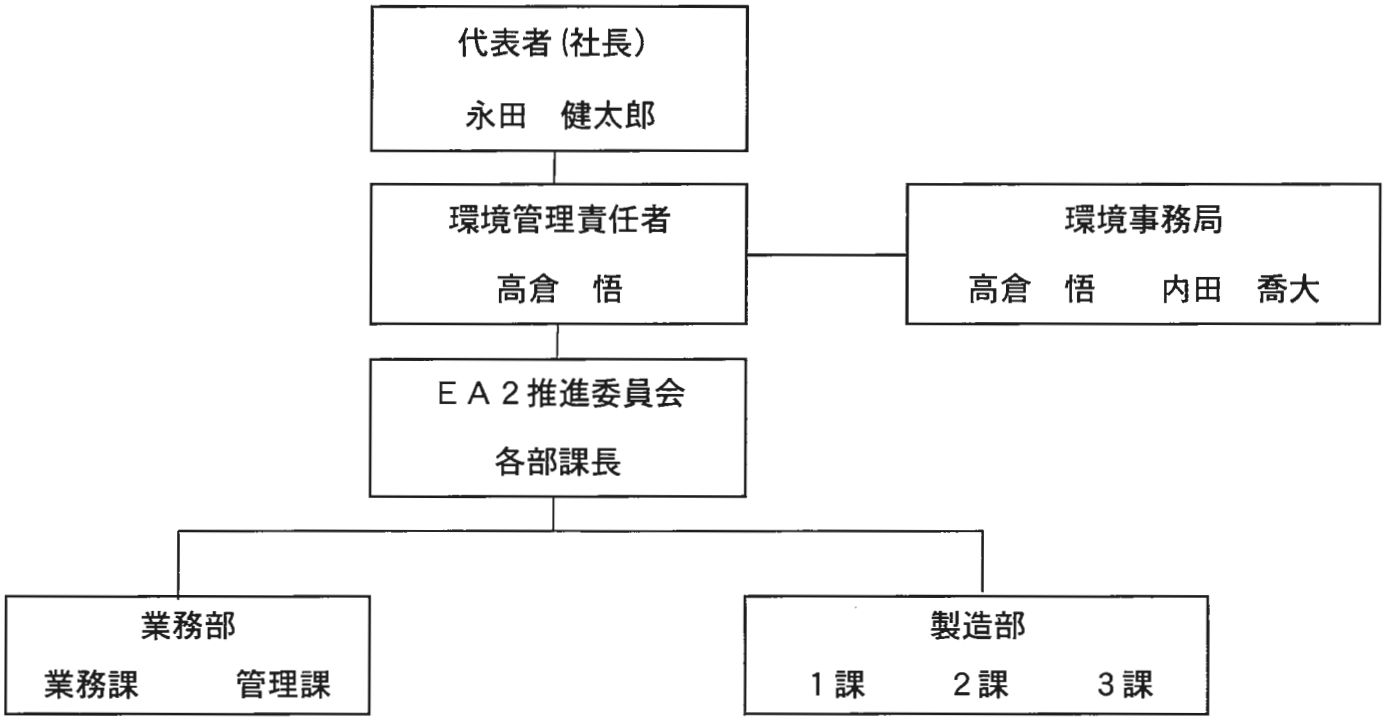
３．　この環境方針達成のため全社員へ方針を周知し、必要に応じて一般へ公表します。

制定日：　2018年　3月　20日

代表取締役

永田　健太郎

3. 実施体制図及び役割、責任、権限表



	役割・責任・権限
代表者　（社長） 永田　健太郎	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技能技術者の準備 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標設定書の承認 ・代表者による全体の評価と見直しの実施 ・環境経営活動レポートの承認
環境管理責任者 高倉　悟	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・環境経営目標設定書の確認と環境経営活動計画書の承認 ・環境経営活動の取組結果を代表者への報告 ・環境経営活動レポートの確認及び地域事務局への送付 ・各種手順書の承認 ・EA21推進委員長
環境事務局 高倉　悟 内田　喬大	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境経営活動レポートの作成、公開 ・自部門、自部署に想定される事故、緊急事態への対応のための手順書作成試行・訓練の実施、記録の作成
ＥＡ２１ 推進委員会	・環境経営活動計画の審議 ・環境経営活動実績の確認・評価
各部課長	・自部門、自部署に関連する環境経営システムの実施 ・自部門、自部署における環境経営方針の周知 ・自部門、自部署の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門、自部署の環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門、自部署に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門、自部署の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性の自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動への参加

4．環境経営目標

～主な環境経営負荷の実績

環境への負荷		単位	2024年	2023年
温室効果ガス排出量	電力	kg-CO_2	570, 053	595, 135
	化学燃料	kg-CO_2	7, 350	8, 192
	合計	kg-CO_2	577, 403	603, 327
二酸化炭素調整後排出係数 0.459kg-CO2/kWh 中部電力　2022年度	（　売上高　）	千円	333, 539	314, 496
廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物（有価物）	kg	0	0
	一般廃棄物（埋立、焼却）	kg	52	50. 7
	最終処分量	kg	52	50. 7
	産業廃棄物（有価物）	kg	3201	3210
	最終処分量	kg	0	0
総排水量	下水道	m^3	583	887
水使用量	上水	m^3	686. 0	1, 043. 0
化学物質使用量	除錆剤	kg	14. 20	15. 72
	防錆剤	kg	30. 50	42. 00
	洗浄剤	kg	28. 2	27. 84
	接着剤	kg	10. 4	20. 52
	合計	kg	83. 3	106. 1
総製品生産量または総商品販売量	容器包装使用量	円	18, 695	20, 295

～環境経営目標～

基準年を2022年度へ変更

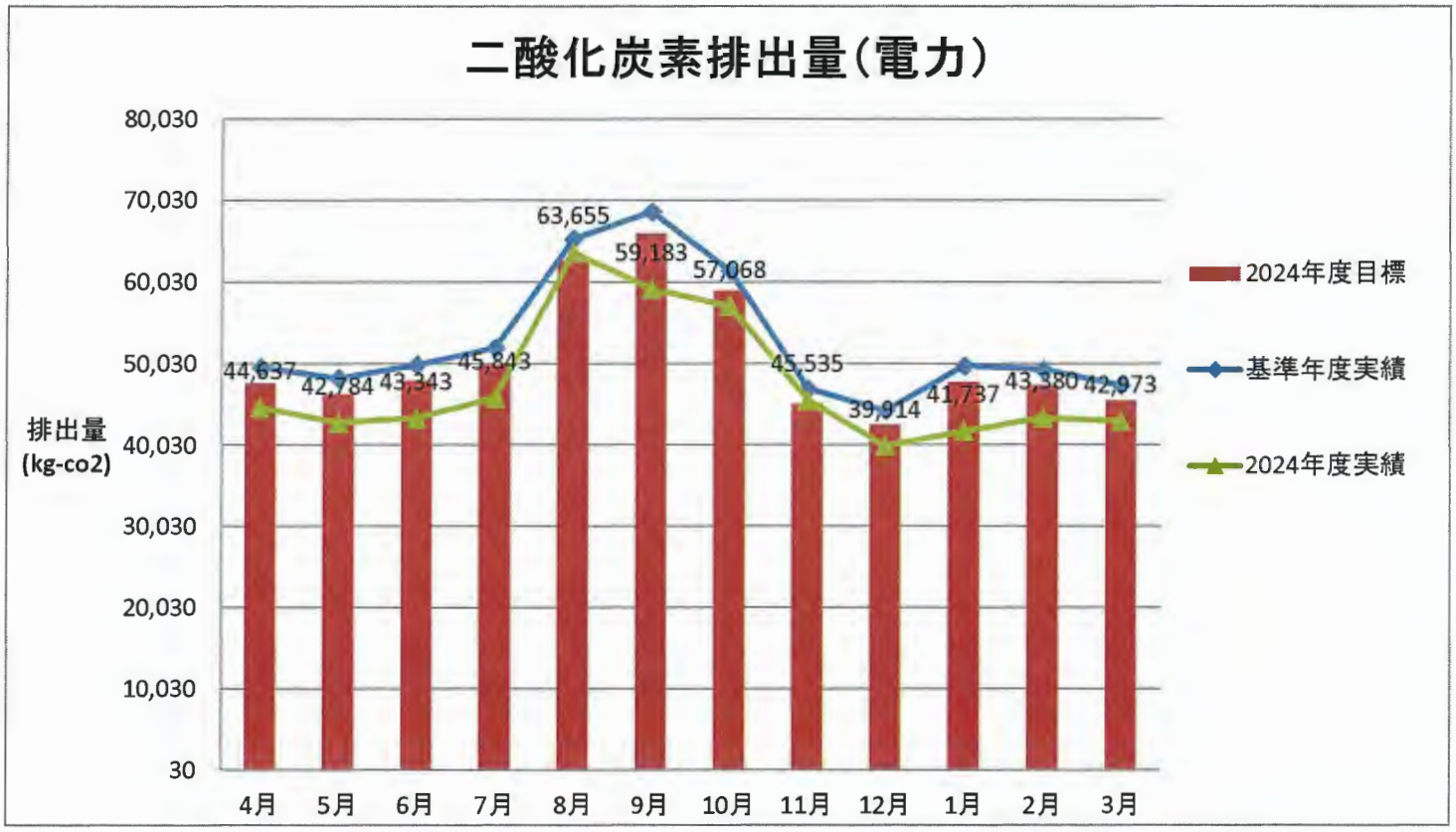
目標項目		基準値 （基準年度　2022年度）	2024年度 （目標）	2025年度 （目標）	2026年度 （目標）
二酸化炭素排出量の削減	電力	1,378,073khw 632,536 kg-CO2 二酸化炭素調整後排出係数： 0.459ｋｇ-ＣO2/ｋＷｈ 中部電力　2022年度	96% 607,235 kg-CO2 空調温度の適正化 （冷却28℃　煖房20℃） エアコンフィルター清掃 加工時間短縮 製造工程変更 LED照明への切り替え WC機1台新規 エアコン更新	95% 600,909 kg-CO2 空調温度の適正化 （冷却28℃　煖房20℃） エアコンフィルター清掃 加工時間短縮 製造工程変更 エアコン更新 研磨機1台新規 LED照明への切り替え	94% 594,584　kg-CO2 空調温度の適正化 （冷却28℃　煖房20℃） エアコンフィルター清掃 加工時間短縮 製造工程変更 エアコン更新 放電1台更新
	自動車燃料	ガソリン 4,482ℓ 10,406 kg-CO2	96% 9,990 kg-CO2 アイドリングストップ 社有車１台買換え	95% 9,886 kg-CO2 アイドリングストップ 急加速・急停止の防止	94% 9,782　kg-CO2 アイドリングストップ 急加速・急停止の防止
	合計	642,942 kg-CO2	617,224 kg-CO2	610,795 kg-CO2	604,365　kg-CO2
廃棄物の削減	一般廃棄物	（紙類・生活ゴミ） 基準年度　2022年度 54.50 kg	96% 52.32　kg 両面コピーの徹底 個人ゴミ削減 ペーパーレス化	95% 51.78　kg 両面コピーの徹底 個人ゴミ削減 ペーパーレス化	94% 51.23　kg 両面コピーの徹底 個人ゴミ削減 ペーパーレス化
	産業廃棄物・有価物	（金属・廃プラスチック） 基準年度　2022年度 2,832 kg	96% 2,719 kg 工程内不良削減 購入材料見直し 鉄・超硬の有効活用	95% 2,690 kg 工程内不良削減 購入材料見直し 鉄・超硬の有効活用	94% 2,662 kg 工程内不良削減 購入材料見直し 鉄・超硬の有効活用
	合計	2,887 kg	2771　kg	2742　kg	2713　kg
総排水量の削減	節水	2023年度修理完了 2024年度を基準年に変更 686 ㎥	------　㎥ 節水呼び掛け 洗浄工程の改善 省エネトイレ取付	98% 672.3　㎥ 節水呼び掛け 洗浄工程の改善 省エネトイレ取付	97% 665.4　㎥ 節水呼び掛け 洗浄工程の改善 省エネトイレ取付
化学物質	化学物質の削減	化学物質使用量 207.28 kg	96% 198.989 kg 洗浄する製品の選別 作業ミスによる使用量抑制 物質の気発防止 化学物質の選別 環境に優しい化学物質選別	95% 196.916 kg 洗浄する製品の選別 作業ミスによる使用量抑制 物質の気発防止 化学物質の選別 環境に優しい化学物質選別	94% 195　kg 洗浄する製品の選別 作業ミスによる使用量抑制 物質の気発防止 化学物質の選別 環境に優しい化学物質選別
物質投入	グリーン購入	環境に優しい商品の購入 （材料は顧客指定の為除外） 比率　100％	100% 事務用品はグリーンマークの有無を確認 機械設備等は機械を比較し環境に優しい商品を購入	100% 事務用品はグリーンマークの有無を確認 機械設備等は機械を比較し環境に優しい商品を購入	100% 事務用品はグリーンマークの有無を確認 機械設備等は機械を比較し環境に優しい商品を購入
環境配慮	環境負荷の低減を目指したものづくり	2022年度（基準年） 包装紙金額 20,495 円	96% 19,675 円 包装紙削減 再生資源使用 包装方法の見直し 包装する製品の見直し	95% 19,470 円 包装紙削減 再生資源使用 包装方法の見直し 包装する製品の見直し	94% 19,265　円 包装紙削減 再生資源使用 包装方法の見直し 包装する製品の見直し
社会貢献		会社周辺の清掃 年2回　実施 夏…6月　冬…12月	年2回 6月・12月の大掃除時に会社周辺の清掃時間を設ける	年2回 6月・12月の大掃除時に会社周辺の清掃時間を設ける	年2回 6月・12月の大掃除時に会社周辺の清掃時間を設ける

5．環境経営活動計画と実績及び評価

1．2024年度環境経営活動計画と実施（2024年4月～2025年3月）

2024年度環境取組と目標 （2024年4月～2025年3月）		目標達成手段	実績値 (2024/4～2025/3)	達成率 ○or△or×
電力の削減 基準年2022年度 2024年度目標 基準年比率 削減率 目標値	632,536 kg-CO2 二酸化炭素調整後排出係数 0.459ｋｇ-ＣＯ2/ｋＷｈ 中部電力　2022年度 96% -4% 607,235 kg-CO2	・空調温度の適正化 (冷房28℃　煖房20℃) ・エアコンフィルター清掃 ・エアコン1台更新 ・WC機１台更新 ・省エネ用LED照明切替	570,063 kg-CO2	107% ○
自動車燃料の削減 基準年2022年度 2024年度目標 基準年比率 削減率 目標値	10,406 kg-CO2 96% -4% 9,989 kg-CO2	・アイドリングストップ ・急加速、急停止の防止 ・社有車1台買換え	7,168.8 kg-CO2	139% ○
基準年合計 目標合計	642,942 kg-CO2 617,224 kg-CO2		577,232 kg-CO2	107%
一般廃棄物の削減 基準年 2022年度 2024年度目標 基準年比率 削減率 目標値	54.50 kg 96% -2% 52.32 kg	・分別の徹底 ・両面コピーの徹底 ・個人ゴミの削減 ・会議資料ペーパーレス化	52.00　kg	101% ○
産業廃棄物・有価物の削減 基準年 2022年度 2024年度目標 基準年比率 削減率 目標値	2832 kg 96% -4% 2719 kg	・鉄/超硬の有効活用 ・購入資材見直し （鉄・超硬） ・工程内不良削減 （前年度比10%減）	3,201 kg	85% ×
基準年合計 目標合計	2887　kg 2771　kg		3,253 kg	85%
水の削減 2023年度内に水漏れ修理完了 2024年度を基準年に設定		・節水呼掛け強化 （節水シール・ポスター ・洗浄工程の改善 ・省エネトイレ取付	686.00　㎥	
化学物質使用量 基準年2022年度 2024年度目標 基準年比率 削減率 目標値	207.28 kg 96% -4% 198.99　kg	・洗浄する製品の選別 ・使用量の適正化 ・作業ミス低減により使用量の抑制 ・物質の気発防止 （保管方法見直し）	178.44 kg	112% ○
グリーン購入 基準年 2024年度目標 基準年比率 目標値	100% 100% 100%	・事務用品はグリーンマークの有無を確認 ・機械設備等は、機械比較し環境に優しい商品を購入	100 %	100% ○
製品への環境配慮 基準年 2022年度 2024年度目標 目標値	20,495 円 96% 19,675 円	・再生資源使用 ・包装紙の削減 ・包装方法の見直し ・包装する製品見直し	18,695 円	105% ○

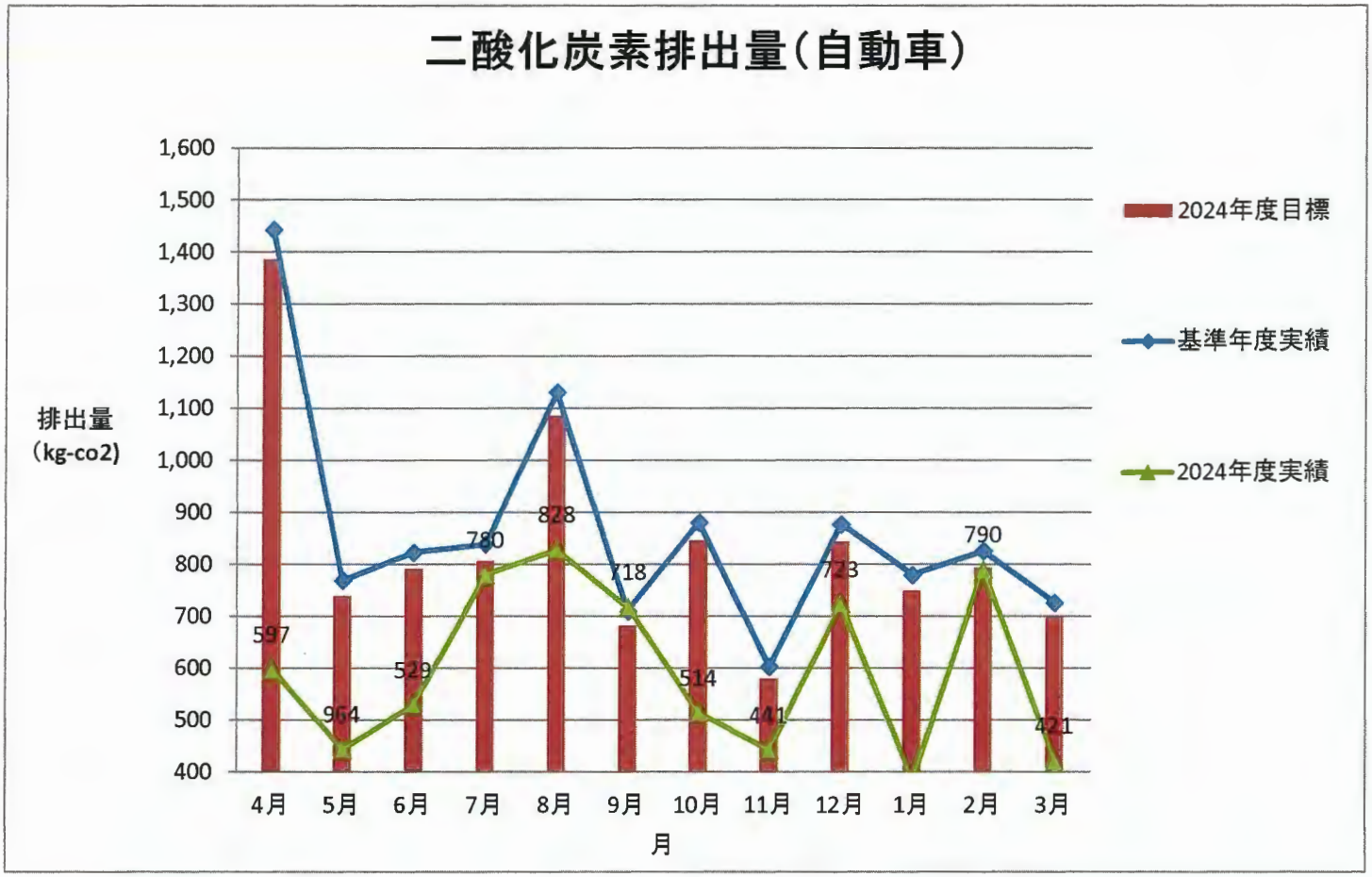
2. 2024年度環境経営活動実績（2024年4月～2025年3月）



二酸化炭素排出量（電力）2023年4月～2024年3月　(kg-CO2)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
基準年度実績値	49, 566	48, 202	49, 851	51, 934	65, 331	68, 685
2024年度目標値	47, 583	46, 274	47, 857	49, 857	62, 718	65, 938
目標比率	96%	96%	96%	96%	96%	96%
2024年度実質値	44, 637	42, 784	43, 343	45, 843	63, 655	59, 183
達成率	106. 6%	108. 2%	110. 4%	108. 8%	98. 5%	111. 4%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準年度実績値	61, 377	46, 925	44, 277	49, 741	49, 283	47, 363	632, 535
2024年度目標値	58, 922	45, 048	42, 506	47, 751	47, 312	45, 468	607, 234
目標比率	96%	96%	96%	96%	96%	96%	96%
2024年度実質値	57, 068	45, 535	39, 914	41, 737	43, 380	42, 973	570, 052
達成率	103. 2%	98. 9%	106. 5%	114. 4%	109. 1%	105. 8%	106. 5%



二酸化炭素排出量（自動車）2024年4月～2025年3月

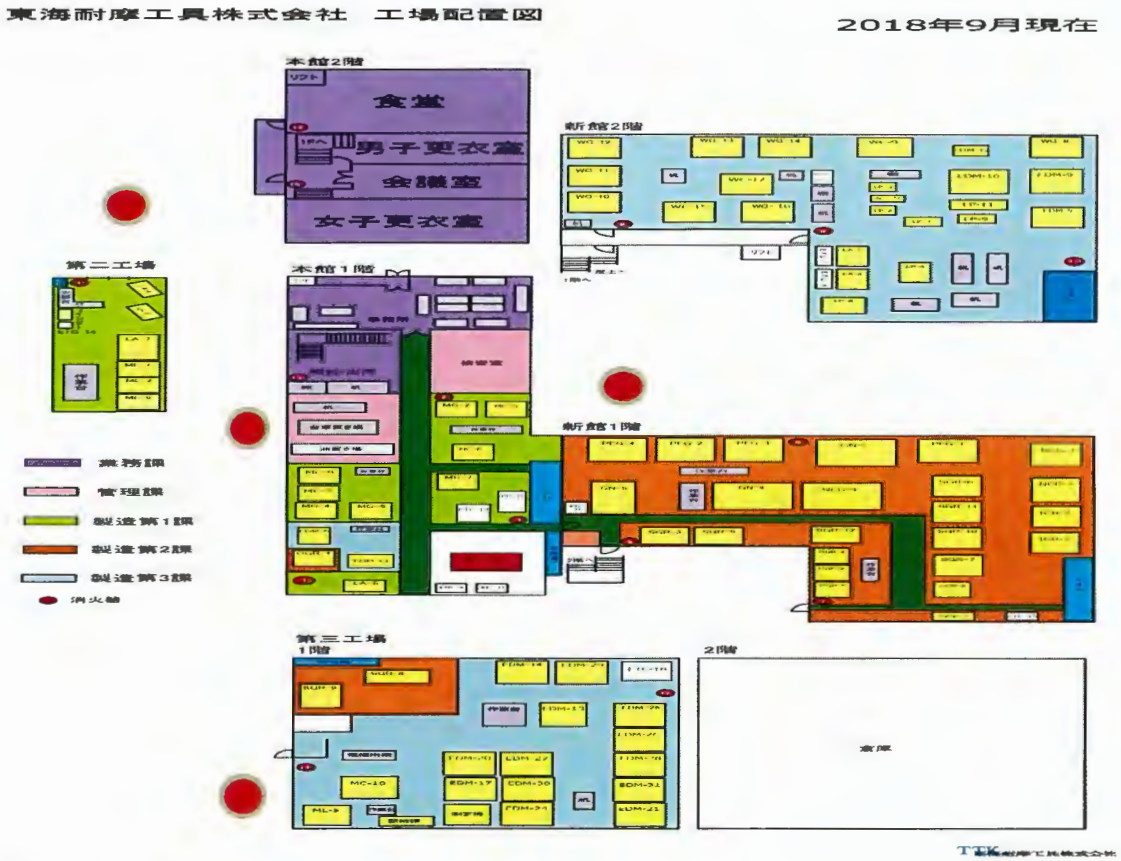
(kg-CO2)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
基準年度実績値	1, 442	768	823	839	1, 131	710
2024年度目標値	1, 385	738	790	805	1, 085	681
目標比率	96%	96%	96%	96%	96%	96%
2024年度実質値	597	443	529	780	828	718
達成率	232. 0%	166. 5%	149. 4%	103. 2%	131. 1%	94. 9%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準年度実績値	881	603	878	780	826	726	10, 406
2024年度目標値	845	579	843	748	793	697	9, 989
目標比率	96%	96%	96%	96%	96%	96%	96%
2024年度実質値	514	441	723	385	790	421	7, 169
達成率	164. 5%	131. 2%	116. 5%	194. 5%	100. 3%	165. 6%	139. 3%

騒音・振動測定結果
(2023/07/07実施)

測定場所：工場敷地境界の東西南北　４地



騒音：第４種区域　工場地域

時間	基準値 (dB)	測定回数 測定開始時間	実測値			
			東	西	南	北
朝 6:00～8:00	65	1回目	43.7	47.9	41.9	43.6
		2回目	43.5	48.1	41.8	42.8
		測定開始時間	7:53	7:48	8:00	7:40
昼 8:00～19:00	70	1回目	47.9	56.9	50.8	54.6
		2回目	47.3	57.1	51.6	54.6
		測定開始時間	13:17	13:06	13:22	12:55
夕 19:00～22:00	65	1回目	44.4	50.6	43.0	44.6
		2回目	44.9	49.7	42.2	44.7
		測定開始時間	19:20	19:11	19:28	19:03
夜 22:00～6:00	60	1回目	41.1	48.7	40.9	40.1
		2回目	40.5	47.7	41.3	39.5
		測定開始時間	22:21	22:16	22:28	22:05

振動：第二種区域２　工場地域

時間帯	基準値 (dB)	測定回数 測定開始時間	実測値			
			東	西	南	北
昼 7:00～20:00	70	1回目	50.2	49.9	50.7	51.1
		2回目	48.5	48.7	49.8	49.7
		測定開始時間	8:17	8:09	8:30	8:00
夜 20:00～7:00	65	1回目	49.9	47.5	50.7	48.3
		2回目	48.1	47.2	50.6	48.1
		測定開始時間	20:45	20:38	20:54	20:30

騒音・振動共に、基準値を超えてなかった。

6．取組実例紹介

新規機械導入

研磨機　長島精工　WAZA520-NC

放電加工機　三菱　EA8PV

エアコン更新

新館2階

事務所

コンプレッサー置場確保

※来期以降に本館の暑さ対策として
コンプレッサーを1箇所にまとめ
熱を外へ逃す対策を計画

緊急事態試行対応訓練
～油置場～

日時　2024年6月28日（金）　午後15時～15時10分

活動内容　地震により、油置場の油缶が倒れ流れ出した事を想定し、水を流し吸油マットで　土壌浸透・社外流出を防ぐ。
手順書の説明
参加者：主に本館一階にて作業を行う者、環境事務局員

緊急時対応　油置場の棚の倒れ発生
↓
油流出
↓
油取りマット置き場にある緊急時専用の油取りマットを流れ出した油の上に直接 乗せ吸油させ, 油の土壌浸透・社外流出を防ぐ

活動風景

①手順書を使用し説明

②油の変りにバケツ1杯の水を流す

③流れた油の上に直接乗せる

製造部長 感想	本館1階にて作業を行う者を対象に行い、参加者全員がきちんと緊急時の対応を理解する事が出来た。いつ大きな地震が起きるか分からないので、普段から意識し作業を行っていきたい。

社会貢献

～会社周辺の清掃～

日　　時　　2024年12月27日　　午後15時～16時

活動内容

全社員（役員・パート含む）にて、会社周辺地域清掃活動を行った。

・会社周辺のゴミ拾い
・会社周辺の雑草の伐採

活動風景

環境事務局長 感想	地域清掃は毎年２回（夏…６月　冬…１２月）に行っている。 煙草の吸殻や、空き缶ペットボトルが多いように感じられた。 年２回の地域清掃時だけではなく、１人１人が常に清掃の意識を持って過ご すことが出来れば、会社周辺がもっと奇麗になると感じた。

ゴミ回収量　　雑草・落ち葉45ℓビニール袋8袋　空き缶・不燃ごみ等45ℓビニール袋1袋

７．次年度（2025年度）の取組内容

（2025/4～2026/3）

目標項目		基準値 （基準年2022年度）	基準年度比	95%
			目標値	600,909 kg-CO2
二酸化炭素排出量	電力の削減	1,378.073kwh 632,536kg-co2 2022年度 中部電力 2022年度 二酸化炭素 調整後排出係数 0.459kg-Co2/kWh	達成手段	空調温度の適正化 （冷房２８℃　暖房２０℃） エアコンフィルター清掃 生産工程の待機時間削減 前処理の合理化 加工時間短縮 製造工程変更 省エネ用LED照明切り替え（工場） WC機1台更新 エアコン更新
	自動車燃料の削減	4,482 10,406kg-CO2 2022年度	基準年度比	95%
			目標値	9,886 kg-CO2
			達成手段	アイドリングストップ 急加速・急停車の防止
	合計	642,942kg-CO2		610,795 kg-CO2
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	54.5kg 2022年度	基準年度比	95%
			目標値	51.8 kg
			達成手段	両面コピーの徹底 個人ゴミ削減 会議資料・予定表のペーパーレス化
	産業廃棄物 ・ 有価物の削減	2,832kg 2022年度	基準年度比	95%
			目標値	2,690 kg
			達成手段	工程内不良削減（前年度比10％減） 購入材料見直し 鉄・超硬の有効活用
	合計	2886.5kg		2,741.8 kg
総排水量	節水	686㎥ 2024年度	基準年度比	98%
			目標値	672.28 ㎥
			達成手段	節水呼び掛け （ポスター） 洗浄工程の改善 外壁冷却水削減 （スプリンクラー水再利用） 省エネトイレ取付

化学物質	化学物質の削減（ＰＲＴＲ法対象外）	207.28kg 2022年度	基準年度比	95%
			目標値	196.916 kg
			達成手段	洗浄する製品の選別 使用量の適正化 作業ミスによる使用量増加の抑制 物質の気発防止（保管方法） 環境に優しい化学物質の選別
物質投入	グリー ン購入	比率 100%	基準年度比	100%
			目標値	100%
			達成手段	事務用品はグリーンマークの有無を確認 機械設備等は、機械を比較し環境に優しい商品を購入。
環境配慮	環境負荷の低減を目指したものづくり	20,495円 包装紙金額 2022年度	基準年度比	95%
			目標値	19,470 円
			達成手段	再生資源使用 包装方法の見直し 包装する製品の見直し 包装紙削減
社会貢献	会社周辺の清掃	年2回　実施 夏…6月 冬…12月	基準年度比	100%
			目標	年2回
			達成手段	6月・12月の社内大掃除時に 会社周辺の清掃時間を設ける

8．環境関連法規制等の遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	監査・測定項目	点検・測定頻度、実施時期	遵守評価	
				証拠	判定
廃棄物処理法	・委託基準：一廃収集業者の許可の確認	契約書の確認	3月	契約書	○
	・委託基準：産廃収集運搬・処理業者の許可の確認、契約	契約書の確認		契約書	○
	・保管基準 掲示板：60cm×60cm以上表示 飛散・浸透防止 衛生管理	廃棄物置き場の確認		報告書	○
	・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	契約書の確認	4月始め	報告書	○
	・マニフェスト交付 B2・D票90日、E票180日以内に送付されない場合は30日以内の知事への報告 A、B2、D、E票の保管（5年間）	マニフェスト発行返却期限の確認	新規交付時又は月末	ﾏﾆﾌｪｽﾄ	○
	・現地確認	現地確認	委託契約3ヶ月前以内、定期：1回／年以	報告書	○
騒音規制法	・特定施設の事前届出	敷地境界線の騒音	新設/変更時・異常音の日常管理 7月	届出書 報告書	○
	・地域別騒音基準の遵守	第4種区域　工業地域 朝…65dB 昼…70dB 夕…65dB 夜…60dB			
振動規制法	・特定施設の事前届出	敷地境界線の振動	新設/変更時・異常音の日常管理 7月	届出書 報告書	○
	・地域別振動基準の遵守	第二種区域２工業地域 昼…70dB 夜…65dB			
フロン排出抑制法	・フロン類の登録回収業者による適切な回収	工程管理票 取引証明書の確認	廃棄時修理時　３月	委託確認書 引取証明書	○
	・フロン類回収時の委託確認書交付と引取証明書の保存（3年間）				
	・点検の義務化	対象物の確認	3ヶ月に1回	簡易点検書	
消防法	・少量危険物取扱所	使用量・保管量管理表の確認	1月	管理表届出表	○
	・届出を要する物質	保管料		報告書	
水濁法	緊急時訓練	現地確認	６．１２月	記録	○
グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択するよう努める	パンフレットの確認	1月	パンフレット	○
家電リサイクル法	引き渡し	取引証明書の確認	廃棄時 1月	取引証明書	非該当
建築リサイクル法	計画の届出	取引証明書の確認	発注時 1月	取引証明書	非該当
顧客グリーン調達基準	PRTR物質等の未使用指定材料	化学物質証明書の確認 材料証明書の確認	3月	材料証明書 化学物質証明書	○

尚、関係当局より違反等の指摘は過去３年間ありません
尚、環境関連法規への違反はありません

9．代表者の全体の評価と見直し結果

見直しに必要な情報	代表者による見直し
環境管理責任者の報告及び改善への提案	変更の必要性の有無・指示事項
[取り組み状況の評価結果]	[環境経営方針]
①環境関連法規制等の順守状況（環境関連法規等順守記録による ・2025年4月21日に定期評価を実施した結果順守されている ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 ・原単位での数値把握→売上比率にて計算 ・水道漏れ修理完了　2024年度を基準年に設定 ③前回までの代表者の指示事項への対応 ・電力削減の為の機械更新及びエアコン更新 →放電機械4台廃棄1台導入（業務改善により生産効率UP） →エアコン２台更新 ＜改善への提案＞ ・なし	変更の必要性：　□有　　■無 環境経営方針を変更しなければならない問題点はなかった。 [目標・活動計画] 変更の必要性：　■有　　□無 基準年は2022年度へ変更を行った。 水に関しては、水漏れ指摘が有り調査をした所、水漏れ確認。 →修理を行った。 →来期以降に基準を設定する

[目標・環境経営活動計画の達成状況]

（詳細は環境経営活動計画書による）

目標項目	目標値達成状況	活動計画実施状況	コメント（目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント）	評価・指示
電力の削減	○	○	基準年　632,536kg-Co2 目標607,234kg-co2に対して570,063kg-co2と目標達成率106％と達成することが出来た。今期業績は先期に比べ20,000千円程度増加したが、電力を25,072khw削減できた。先期見直した機械更新とエアコン更新を計画より多く行う事が出来た。	年間を通じて目標達成はとても評価できます。業務改善の効果が表れている証しです。来期以降も削減に努めて下さい。
ガソリンの削減	○	○	基準年　10,405.52kg-Co2へ変更。 目標9989.30kg-co2に対して7168.80kg-co2と目標比率139％と目標を達成することが出来た主な要因として、日本特殊陶業への納品日を半数に減らした。	基準年の見直し及び目標達成はとても評価できる。来期以降も削減に努めて下さい
一般廃棄物の削減	○	○	基準年　54.5kg 年間通じて目標52.32ｋｇに対して52.00kgと目標達成率101％と目標達成することが出来た。社外会議のオンライン化での削減や個人ゴミ削減・両面コピーなのが浸透してきている。	目標達成出来たことは評価できる。
産業廃棄物・有価物の削減	×	△	基準年 2,832kg 目標2718.72kgに対して3201kgと目標達成率85％と目標達成できなかった。仕事量の増加も要因だと思われるが、新たな手段を考える。	先期より仕事量が増加。目標が未達成な原因が仕事量増加の為なのか原因解明を行い、来期以降の削減に繋げて下さい
水の削減	------	-----	先期漏れ修理を行い、今期を基準年に設定を行う。	修理後は使用量が激減しているので、すぐに気付けるようにしてください。来期以降の目標を再設定し削減に努めて下さい
化学物質の削減	○	○	基準年　207.28kg 目標198.989kgに対して178.440kgと目標達成率116％で目標を達成することが出来た。半導体仕事量が減りデブゴン等の使用量減少が１番の要因だが、社内改善による不具合減少も効果が出ている。	仕事量が減った事が１番の要因ではあるが社内改善による不具合削減も効果が出ているので、この調子で来期以降も削減に努めてください。
グリーン購入の推進	○	○	目標通りグリーン購入100％の目標達成することが出来た。　先期実施出来なかった、エアコン更新実行出来た。	エアコン更新を予定以上に実行出来たことは評価できる。来期以降も予定を確実に行って下さい。
製品への環境配慮	△	○	基準年　20,495円 目標19,675円に対して18,695円と目標比率105％と目標達成することが出来た。客先と相談し包装方法の見直し・包装する製品の見直しを客先と少しずつ進めて行けている	包装方法や包装する製品の見直しを客先と進められている事は評価出来る。来期移行も削減に努めてください。

＜改善への提案＞
来期への繰り越し案件の計画見直しを行ってください

[周囲の変化の状況]

①外部コミュニケーション記録より
・外部からの苦情等なし。

②環境関連法規制等の動向他
・なし
＜改善への提案＞

[実施体制の評価]

来期以降受注回復見込み。
業務改善等の継続による不具合削減、工程変更等による環境への負荷を
新規案件（CAPABLE）のテストを早期完了させ受注に繋げてください

[その他]

変更の必要性：　■有　　□無

来期（2025年度）で基準年見直しを行う。

[総括]

エネルギーの価格が高騰しているなかですので、現状の使用量削減以上に削減する項目を考えていってください。環境負荷を減らすことが出来れば、おのずと業績に反映されます。　　増加する廃棄物に関して、仕事が増加している中でも削減できるよう管理を行ってください。